

現在の生育情報（6月20日現在）

※管内12圃場の平均値、平均田植日5月21日

| 調査内容 | 今年 | 前年 | 指標値 | 前年比 | 指標値比 |
|-------------|-------|--------|-------|-----|------|
| 草丈 (cm) | 30.4 | 42.2 | 35.0 | 72% | 87% |
| 坪当り莖数 (本) | 707.6 | 1318.5 | 920.0 | 54% | 77% |
| 葉数 (葉) | 7.4 | 8.7 | 7.5 | 85% | 99% |
| 葉色 (SPAD 値) | 37.6 | 42.4 | 38.0 | 89% | 99% |

・草丈：短い 莖数：少ない 葉数：並 葉色：並

○中干し

・6/20 現在、莖数は少なく推移していますが、田植え 1 ヶ月を目安に行ってください。

○中間追肥

ケイ酸が 1 番吸収されるこの時期に追肥を行いましょう！！

【主な中間追肥肥料】

| 肥料名 | 成分量 (%) | 基準施用量 (10a当り) | 使用時期 | 特徴 | 店頭価格 (6/20現在) |
|--------------|--|---------------|--------------|---|---------------|
| 魚沼ロマンガルメエース | リン酸：6 苦土：10 ケイ酸：16 マンガン：0.1 ホウ素：0.1 銅・鉄・亜鉛：微量 | 20 ~ 40kg | 6月下旬 7月上旬 | リン酸・苦土・ケイ酸に加え、微量要素を多く含むバランスの良いマルチ肥料。 | ¥2,030 |
| マグコープ | リン酸：17 苦土：3.5 | 20 ~ 40kg | 6月下旬 7月上旬 | 養分や水分の吸収力を高めるリン酸を多く含む。 | ¥1,544 |
| けい酸加里プレミアム34 | カリ：20 苦土：4 ホウ素：0.1 ケイ酸：34 | 20 ~ 40kg | 6月下旬 7月上旬 | 良いお米には欠かせないケイ酸分を豊富に含む。また含まれるカリは緩効性のため効率よく吸収される。 | ¥2,278 |
| スーパーシリカプレミアム | ケイ酸：30 アルカリ分：40 苦土：2 | 20 ~ 40kg | 6月下旬 7月上旬 | 低コスト資材で、ケイ酸を多く含んでいます。 | ¥1,274 |

◎各種肥料の効果

ケイ酸 は稲体を強くするため、倒伏や病害虫、気象変動に負けない強い稲になります。

加里 は根の張りをよくするため、根や稲体の活力維持につながります。

リン酸 は生育促進や登熟・食味の向上につながります。

一斉草刈り週間 ～カメムシからお米を守るために～

7月15日(土)～7月23日(日)

地域全体で一斉に草刈りを行い、効率的にカメムシの生息密度を減らして大切なお米を守りましょう！

刈り草は用水路や河川には流さないでください！！

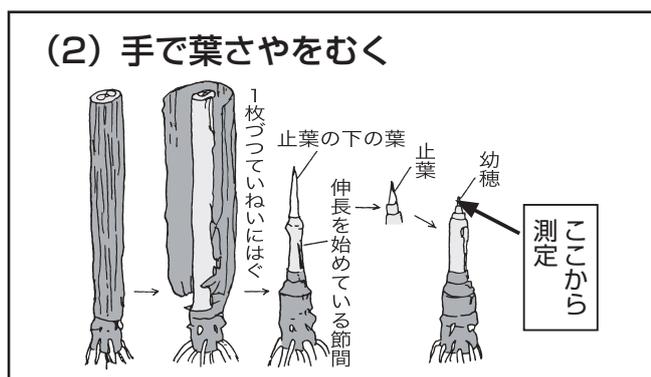
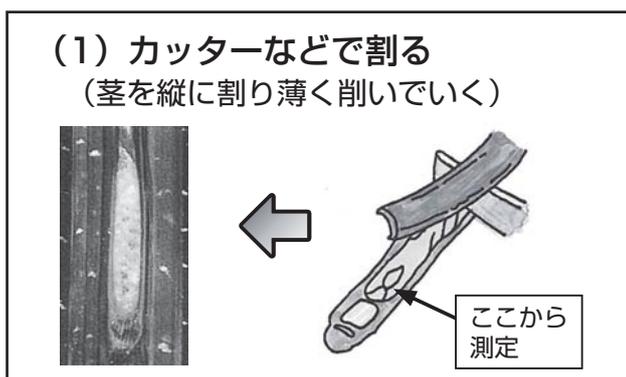
刈り草が用水路や河川に流れると、下流の取水や漁業関係者等に迷惑をかけてしまいます。刈り草は、適切な処理をお願いします。

○穂肥

穂肥施用は米の実りを左右する重要な作業です。登熟後期まで栄養を確保しましょう！
散布時期、散布量は幼穂を確認して適期に行いましょう！

【幼穂の確認方法】

- ① 圃場内の平均的な生育の株から、最も長い茎を根っこから採取する。(3～5か所から採取)
- ② カッターで茎を割るか、手でむいて幼穂を確認する。



【穂肥の施用時期と施用量】

| 肥料名 | 成分 (%) | | | 1回目 (出穂前15～12日) | | 2回目 (出穂前7～5日) | | 店頭価格 (6/20現在) |
|-------------------|--------|----|----|-----------------|---------|----------------|---------|------------------|
| | N | P | K | 幼穂長 | 施用量 | 幼穂長 | 施用量 | |
| 有機30魚沼口マン 穂肥専用 | 12 | 4 | 10 | 約2cm～8cm | 9～13kg | 約18cm～ 20cm | 9～13kg | ¥2,581 |
| 魚沼口マン 有機穂肥 | 10 | 4 | 12 | 約2cm | 10～15kg | 約18cm | 10～15kg | ¥2,732 |
| かがやき | 14 | 14 | 14 | 約8cm | 7～10kg | 約20cm | 7～10kg | ¥1,274 |

【効果】

| 時期 | 1回目の穂肥 (出穂15～12日前) | 2回目の穂肥 (出穂7～5日前) |
|----|---|--|
| 効果 | ①有効茎歩合の向上 ②籾数の確保 | ①登熟の向上 ②千粒重の増大 |
| 特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 生育状況に合わせて施用時期・量を決めましょう。(場合によっては施用を見送る) ● 施用の時期が早いと下位節間の伸長を促し、倒伏を助長する恐れがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 2回目の施用時期に穂肥を行っても、下位節間は伸長しません。また、稈の強度を高め、倒伏軽減につながります。 |

ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課(TEL777-3786)までお問い合わせください。